

# 要 望 書

平素は、平山校長先生はじめ諸先生方におかれましては、学生のために種々ご尽力くださり誠にありがとうございます。心から厚く御礼申し上げます。

私どもは常々、学校と後援会は車の両輪であるとの考えのもと、常に情報を共有し、保護者や学生に耳を傾け後方支援に努めてきたところでございます。これまで部活動の支援、バス購入支援、構内美化活動（年2回の奉仕作業）、本年は卒業式での動画撮影などの企画や、高専祭では中学生らを対象とした「阿南高専どんどこ？こんどこ！」なども学生と共同で開催してまいりました。そういった取り組みもあり、私たちの入学説明を受けた学生が本校に入学する嬉しいニュースもありました。

ところが、国難とも言えるコロナウイルス感染拡大により、小中学校、高校は休校、阿南高専も遠隔授業からのスタートとなりました。初動対応では遠隔授業をすぐに実施され素晴らしいと感謝していたことです。しかし、阿南高専へ胸を膨らませ入学した新一年生の保護者から学校のことで相談がありました。そこで臨時役員会を開催するにあたり、6月22日～23日まで100名近い保護者に現在のお子様の様子について伺いました。一年生の保護者様からは特に「子どもらは先輩方や横のつながりも無く、友達も出来ていないことから不安な日々を過ごしている。早期に学校を再開して欲しい」との多くのご意見を頂戴しました。阿南高専はコミュニケーション能力が高い学生が育つといわれていますが、遠隔授業ではどうしても補えない部分があり、各学年から対面授業や部活動再開を望む多くの声がございました。学生もコミュニケーションを磨く機会がなく、先生方のご労苦もいかにばかりかと拝察します。

現在は緊急事態宣言が解除になり県を跨ぐ移動も許可されましたが、第二波、三波の感染拡大も懸念されており、不安な状態に変わりはありません。しかし、子供たちの安心安全を第一に学校の感染対策を構築いただき、早期に学校再開にむけた具体的な取り組みをお願いする次第です。既に県内の小中学校、高校、徳島大学なども通常授業、部活動は阿南高専の平日1時間のみに対し、他校は土日も認めていると伺っています。他高専に目を向け東京高専にもお話を伺ったところ一部遠隔授業もあるものの、学生も入寮し通常事業を開始、米子高専や、平山校長先生の前任校である松江高専も、平日の夕方、土日の活動を認めており、香川高専も代替大会参加の許可を出すという方向転換をしたと伺いました。新型コロナウイルス発生により「友」と「敵」とに分断され、多くの人々が家へと引きこもることを余儀なくされる世界情勢の中、「ピンチはチャンス」と捉え、子ども達の学びの場を提供いただきたく、下記要望をいたしますので格段のご配慮を頂きますようお願いいたします。

1. 安心安全を確保した早期の学校再開
2. 今後の方針の明確化と対話
3. 総体の代替大会参加
4. 1年生を含めた部活動の再開
5. 特に1年生を中心とした不安の解消と心のケア
6. 授業理解度の把握とフォロー
7. タブレット端末の早期導入
8. 無記名アンケートの実施

以上

阿南工業高等専門学校 校長 平山けい殿

阿南高専後援会